

# 番外編 自分で資料を探するとき2

本で調べたい! 下ごしらえとして使えるインターネット情報



埼玉県立熊谷図書館  
人文・社会科学資料担当  
熊谷市箱田5-6-1  
Tel : 048-523-6291  
Fax : 048-523-6468

## ◆ 今回のテーマ ◆

図書館や書店に行くとき「こんな本を読みたいな」「あんなことが知りたいな」と思って出かけたのに、ピンとくるものがないまま帰ってしまった経験はありますか? 本との偶然の出会いも大切ですが、目的をもって出かけるなら、お目当ての本があるかどうかは事前に知っておきたいものです。そんなとき、自宅のパソコンやスマホから、インターネットを使って本を探す方法をご紹介します。

## ◆ 目次 ◆

**ヒント1** 図書館のウェブサイトから探す ----- 予約もできる優れたもの

**チェックポイント** 検索キーワードにちょい足し ----- 検索のコツ

**チェックポイント** 日本十進分類法 ----- ジャンル検索

**ヒント2** 横断検索で幅広く探す ----- 本も「おとりよせ」できます

**ヒント3** 連想検索で一風変わった検索を ----- ほかに使える検索サービス

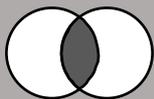
## ヒント1 図書館のウェブサイトから探す

まずは近くの公共(市町村立、あるいは都道府県立)図書館のウェブサイトを探しましょう。「蔵書検索」「本を探す」といった項目とともに、キーワードを打ち込む検索窓が表示されていませんか。読みたい本のタイトルがわかっているならばそのまま入力すればいいですし、わからない場合はタイトルや内容に沿った単語を入れてみましょう。

### チェックポイント 検索キーワードにちょい足し

複数の単語を組み合わせて検索するとき、以下のように入力すると異なる検索結果を表示できます。

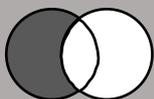
[A and B]  
(A と B どちらも含む)



[A or B]  
(A か B どちらか含む)



[A -B]  
(A であり B でない)



["A"] (A の語順も含め完全一致)

### チェックポイント 日本十進分類法(NDC:Nippon Decimal Classification)

本を内容(テーマ)で分類する方法の一つで、日本の多くの図書館で採用されています。同じ分類の他の本を参照する、といった使い方も。

【例】「日本の小説」は、「913」  
[9:文学][91:日本文学][913:(日本文学の)小説・物語]

#### 【類目表】(第一次区分表)

0 総記	5 工業
1 哲学	6 産業
2 歴史・地理	7 芸術・スポーツ
3 社会科学	8 言語
4 自然科学	9 文学

## ヒント2 横断検索で幅広く探す

近くの図書館には置いてない……検索しても出てこない……！

しかし、図書館は一つしかないわけではありません。近隣の市町村にも、都道府県立の図書館もあります。また、ここに掲載されたウェブサイトは図書館の検索サービスになりますが、そのほかにも書店の通販サイト等でも本を探することができます。

### 横断検索：本を取り寄せて利用する

市町村といった枠にとらわれることなく、さらに広い範囲の図書館から本を検索することができるサービスです。近くの図書館にない本でも、ほかの図書館が持っている取り寄せができる場合があります。例えば、埼玉県内図書館横断検索 (<https://www.lib.pref.saitama.jp/calil/index.html>) では、埼玉県内の公共図書館等の本を一度に検索することが可能です。

ただし、本の取り寄せを依頼する方法や条件は、各図書館により異なります。

詳しくは、お近くの図書館（本を受け取りたい図書館）にお問い合わせください。

### 国立国会図書館サーチ：全国から探せます

国立国会図書館をはじめ、全国の図書館等の資料を検索できるサービス (<https://iss.ndl.go.jp/>) です。あいまいな表現から資料を探す機能や、改版などで形を変えて何種類も刊行されたような図書をまとめて表示する機能等、膨大なデータを扱うに適した機能が搭載されていることも特徴です。

本や雑誌だけでなく、デジタル情報も同時に検索するため、インターネット環境さえあれば読むことができる資料もあります。

### カーリル：よく行く図書館から探せる、データベースを含めた検索も

複数の図書館の本を検索することができるほか、Amazonなども同時検索してくれる民間の検索サイト (<https://calil.jp/>) です。新しく出版されたばかりで図書館にない本でも、著者などの本の情報を見ることができます。自宅と勤務先が離れていて二つ以上の図書館を利用している場合などに、お気に入りの図書館を登録しておくことで検索が一度で済むほか、本のリストを作って保存しておくこともできます。

## ヒント3 連想検索で一風変わった検索を

なんとなく近い気がするけど、微妙に本の内容が思っていたものと違う。あるいは、関連資料を見つけたいけれど同じ言葉で探しても出てこない。そんな時は、検索キーワードを変えて試行錯誤することも大切です。しかし、どんな言葉で探せばじっくりくるのか分からないことはないでしょうか。そんな時には「連想検索」という、今までの検索方法とは違った方式も試してみたいかがでしょうか。

### WebCat Plus：文章から本を「連想」

検索する言葉に「近い」本や情報を探し出す、国立情報学研究所の検索サービス (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>) です。キーワードを単語で入力することもできますが、調べたい事柄をそのまま文章で打ち込んで探そうことが可能です。検索結果を「連想ワード」という関連度でくくって絞り込むこともできるため、今までの本の探し方とは少し違う視点で物事を見ることができるようになっています。